

NAGASAKI



看護連盟だより

2017
新春

あけましておめでとございます

県央



山口ミユキ
名誉会長



草間 朋子
日本看護連盟会長



離島



充電の年



今年も
会員一同、
一丸となり
頑張ろう

県南



県役員

県北



目次

会長あいさつ……………	2	病棟リーダー・施設連絡員紹介……	6、7
名誉会長あいさつ……………	3	衆議院議員谷川弥一先生を支える感謝のつどい…	8
日本看護連盟会長あいさつ……………	4	平成28年度病棟リーダー・施設連絡員研修会…	9
あべ俊子衆議院議員あいさつ……………	4	青年部あいさつ……………	10
たかがい恵美子参議院議員あいさつ…	5	施設紹介（みてみて my 病院）……………	11
石田昌宏参議院議員あいさつ……………	5	県別会議、研修会案内、編集後記……………	12



ごあいさつ



長崎県看護連盟 会長 金澤 きみ代

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

また、旧年中は、看護連盟活動に多大なるご尽力をいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。

昨年7月の第24回参議院選挙に於いては皆様のご協力とご支援のおかげで、たかがい恵美子参議院議員は2期目の選挙戦を戦いぬくことが出来ました。県の目標数は達成できませんでしたが、今回の選挙に於いては県役員と支部長、支部幹事長、施設長が一丸となり、病棟リーダー、青年部の方々、会員の皆様の活動が今まで以上に活発であったと感じています。その結果前回より2,000以上も票を伸ばすことが出来ました。

現在、2期目の参議院議員として活躍中のたかがい恵美子先生には、組織代表として現場の声を政策および制度にさせていただき、看護職の役割である次世代に向けた社会保障制度および看護職が元気に、いきいき働ける職場環境を創っていただきましょう！

さて、連盟における本年度の重点目標は次期参議院選挙に備え組織強化・拡大であります。

連盟会員の増と連盟の理解を深める研修に力を入れていく必要があります。昨年度の各種研修会後のアンケート結果の分析から受講後の効果が出ていました。1人でも多くの会員の皆様が各種研修会に出席し、看護連盟の必要性をご理解され、そのことを周囲の方々に広めていただくことが出来れば、もう少し強い組織になるのではないかと考えています。

ぜひ多くの会員の皆様の研修会参加をお待ちいたしております。

2017年は丁酉（ひのととり）年、干の「丁」は、壮年の男子の意味があるそうで、草木の形が充実した状態。「酉」は、草木の果実が成熟しきった状態だそうです。丁が強くて酉が弱いそうで、互いに力を弱めあう相克となり、たとえば私の場合は、頭ではもっと前に進みたくても、体がついていかないということが起こる、そのような年になるそうです。自分の体力に応じた行動を考えて過ごして行こうと思います。

会員の皆様には連盟活動に更なるお力添えをお願いして、新年のあいさつといたします。本年もよろしく申し上げます。

Happy New Year 2017

昨年はお世話になりました。本年もよろしく申し上げます。
平成29年 元旦





ごあいさつ

長崎県看護協会 長崎県看護連盟 名誉会長 山口 ミユキ

謹んで 初春のおよろこびを申し上げます。

皆さまには、それぞれに豊かな新年をお迎えのことと、喜び申し上げます。

昨年は、「結集」のもと、看護界の組織代表者として、「高階恵美子」先生を再二、参議院議員選挙において上位当選させる活躍の年でありました。目的に向かって走り続けた拳句「空しく腕を組む」結果となりました。何故、どうしたら、納得できる結果を得ることができたのでしょうか。本当に看護職者に政治が必要なのか。看護と政治、そして選挙。
・50年余取り組んだ私の活動は、日本看護協会の基本的理念に基づいた活動で、自律、自分達のことは自分でという信念の中で、政治の必要性を痛感し、政治力を高め、かつ、強くするためには選挙が必要である。このことを充分理解して走り続けたいま、選挙の度毎に「空しく腕を組む」ことの繰り返し、何故、どうして、まだまだ、必要性が届かない現実を満たすことの努力の必要性を痛感する次第であります。

・これからの前進 自律、—自分達のことは自分で—

看護と政治・選挙で、看護力を強くして、すべての人々に安全・安心の看護が提供できる為に、日本看護協会会員、日本看護連盟会員が、表裏一体となって取り組むことこそ急務であり、現状のままであれば現在より低下することは明らかで、充電して時局にふさわしい看護を、過去の活動をふりかえり必ず不足の点を知ること。そのうえで努力、勇気、忍耐、積極性を以って明日の看護を築く為に、常に流動社会を知り、激変するいま、国際社会の中で生きる日本国民として、看護を専門職業とする看護職者として、看護の役割を熟慮するとき、人間の命は人間が救う、この言葉は実に尊く、かつ、重責を感じます。(看護の力の尊さ、重さ)人間を救うことの尊さに、より一層充実した看護の力が必要かつ、大切であることを更に痛感します。

共に走り続けた平成28年度の活動が次期に何を、誰に引き継ぐか、各々の立場でその役割を充分伝えることができる。それは自分であることを信じたいものであります。

「結集」の言葉で本気、やる気、根気、「信念こそ我が勝利」で全国第1位の得票数「高階恵美子」に、仲間、同志に大拍手で称えます。

平成29年度が健康で、すべての人々に「明るい豊かな暮らし」ができますように、心から祈念して、年頭のあいさつを申し上げます。

朴氏「弾劾見守る 自ら退陣しない意向か」

(きびしい国際社会、隣国の韓国)

平成28年12月7日(水) 読売新聞記



新年のごあいさつ



日本看護連盟 会長 草間 朋子

第24回参議院選も無事終了し、新春を迎えました。決意を新たに、会員のみなさまと一丸となって、次の目標に向かってがんばってまいります。

看護職は、これからの日本の「予防し、治し、支える」保健医療介護を担う主役です。看護職が、安心して、明るく、プライドをもって活躍できることが、県民、国民のみなさまによりよい医療介護を提供できる原動力になります。このためには、看護が抱える課題（看護政策）を、一つひとつ実現に向けて組織的に活動していく、看護連盟の「組織の力」の強化が不可欠です。

昨年10月に東京で開催された都道府県会長・幹事長・支部長の合同会議には、全国から約800名の方々にご出席いただき、会場からは、参議院選への反省、これからの看護政策実現に向けての連盟の在り方等に対するたくさんの意見が寄せられ予定した時間が足りない状態でした。合同会議を通して、改めてこれからの「連盟の底力」を実感することができました。合同会議の後の懇親会の席で、参加した若者のみなさんから「連盟活動は楽しい」という声をかけられ、とっても嬉しく、勇気づけられました。そうです。連盟のスローガンは、「ベッドサイドから政治を変える」です。連盟の活動は、会員のみなさまの「発言」「働き掛け」からスタートするのです。「待ちの姿勢」ではなく、会員のみなさまの一人ひとりの前向きな積極的な行動が、看護政策実現に結びつくと思信じて、連盟活動を楽しんでまいります。



衆議院議員 あべ 俊子

長崎県看護連盟の皆さまには日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本年は、全国の看護連盟の皆さまの力添えのおかげをもちまして、たかがい恵美子先生が2期目の当選を果たし、国政での看護の議席を堅守できた大変喜ばしい年となりました。また私自身は、党内人事によって、新たに自由民主党副幹事長として党務に就かせていただくこととなりました。

副幹事長は、選挙の指揮、国会運営・法案審議、党務を統率する幹事長をお支えする重要な役割です。また、ふるさと対話という皆様のもとへ赴いて生の声を聞かせていただくプロジェクトのほか、女性活躍推進や農林水産振興など地方活性化のための取り組みを担当しています。

そして国会内では、厚生労働委員会、政治倫理の確立及び公職選挙法に関する特別委員会（理事）、TPP 特別委員会の委員を拝命し、新たな法律や法改正のための審議に努めています。

今後も引き続き精一杯、政務・党務に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

現在、来るべき法改正に向けて、医療や看護の様々な問題解決のため、議論を進めております。これからの超高齢社会を支えるためには、看護職の皆様の大きな力が必要です。その看護職の皆さんお一人お一人が働きやすく、やりがいをもって看護できることを心から願うとともに、それを支える立場から、看護がさらにより良く発展していくためのお役に立てるよう、引き続き現場の声をお聞かせいただきながら全力で取り組んでまいります。

長崎県看護連盟の皆様、本年もどうぞよろしくお願申し上げます。



参議院議員 たかがい 恵美子

謹賀新年 丁酉の2017年は、直感力と行動力を磨いて運氣を取り込み「いのち(人生)の実り」について、改めて考えたいと思っています。ひとの生きる力を守り支える看護のパワーを存分に活かせる社会づくりを進めたい。そのために今、私たちは自らの知識・技術・経験を総動員して、諸般の労働法制の改革に取り組んでいかなければなりません。

これからの数年間は、従来の予想を超える多様な医療需要の増加と供給市場の拡大が急速に進むと見込まれます。変化を座して待つのではなく、プロの目利きで時代を先取りする攻めの姿勢で挑みたいものです。

また、2015年に始動した我が国の女性の健康科学については、十分な学術基盤が醸成されるように、2016年に始動した「幸齢社会への挑戦『ハッピープラチナ運動』」は、順調に各所での事業が充実するように、引き続き力を注いで参ります。

さらに2期連続の自民党女性局長として、7つの重点政策の一層の推進と女性議員の育成と政治力向上の体制整備にも取り組みます。

本年も、看護職の誇りを胸に鋭意努力する所存です。みなさまのますますのご繁栄を心よりご祈念申し上げます。



参議院議員 石田 昌宏

長崎県看護連盟の皆様、新年おめでとうございます。平成29年が皆様にとってすばらしき年になりますよう、心からお祈り申し上げます。2017年の干支は丁酉(ひのととり)となります。酉年の“酉(ゆう)”は、「酒」という字のつくりになっているように、収穫した作物から酒を作る、「実る」という意味もあるのだそうです。皆様とともに実りある一年にして参ります。

通常国会においては、引き続き社会保障制度改革の議論が進められていきます。「ニッポン一億総活躍プラン」の第三本の矢として、「第1の矢 希望を生み出す強い経済」、「第2の矢 夢をつむぐ子育て支援」、「第3の矢 安心につながる社会保障」が放たれる中、来年の診療報酬、介護報酬同時改定に向け、今年は大きな山場を迎える年となります。そのことを肝に銘じて私も皆様の声を国政に反映して参ります。

昨年臨時国会で議院運営委員会理事を拝命し、全省庁の窓口となって議会運営に携わっています。この経験を、看護政策遂行に生かしていきます。

私たち看護職がそれぞれの力を発揮し“いい看護をした”と実感できることは、国民の皆様ひとりひとりが安心して暮らせる社会の必要条件だと思います。看護の現場の明るさは、日本の元気のバロメーターだという信念で国政に取り組んで参ります。今年も、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

病棟リーダー

県南

県南地区第1支部
長崎記念病院
松尾 郁



病棟リーダーをしています。
私達現役ナース、未来のナースの
為に働きやすい、働きがいのある職
種目指して頑張ります。

県南地区第2支部
特定医療法人
昭和会
昭和会病院
川崎 成美



関西から地元長崎に戻り1年がたちました。
看護連盟活動を一番実感したのは選挙活動で
した。
研修等にも参加の機会があり”職場からリー
ダーを出すことが看護師の職場環境がよりよ
いものになる”ということを再認識しました。
今後も看護連盟の活動内容に興味をもち「自
分にできることは何か」ということを意識し
ていきたいと考えます。

県南地区第3支部
日本海員救済会
長崎救済会病院
中本 浩太



今年は選挙について学ぶことがで
き、その中で看護連盟の活動がまだ
まだ周知できていないと感じまし
た。病棟リーダーとして連盟のピ
ジョンを明確に伝えることで職員が
希望をもって働けるようにしてい
きたい。

県南地区第4支部
済生会長崎病院
濱崎 聖四郎



今年で5年目になりますが、初心
を忘れずに日々精進していきたいと
思います。
また看護連盟青年部にも所属して
います。青年部活動を自分の病院で
も活かせるように頑張っていきたい
と思います。

県南地区第5支部
日本赤十字社
長崎原爆病院
毛利 祐紀



私は病棟リーダーとして看護連盟
や選挙について研修会で理解を深め、
選挙に向けては施設のリーダー全員
で役割分担し、協力して呼びかけを
頑張りました。今後も看護連盟活動
の必要性を発信していきたいです。

県南地区第6支部
医療法人
光晴会病院
栗田 優子



当院は今まで部署に1名だった施
設連絡委員を2名配置し、勤務上困
難だったスタッフへの確実な伝達や
教育を行うなど委員会活動の充実を
図っています。特に若い看護師層の
政治離れをどう防ぐか検討し活動を
続けたいと思います。

県南地区第7支部
聖フランシスコ病院会
聖フランシスコ病院
内田 恭一郎



皆様、こんにちは。青年部施設代表とし
て看護連盟活動を行っている内田恭一郎と
申します。自施設では、毎月第2火曜日を
「看護連盟の日」と定め、青年部活動を行っ
ています。
まだまだ、未熟な所も沢山ありますが、
皆様と共に全力で頑張りたいと思いま
すので、何卒宜しくお願い申し上げます。

県南地区第8支部
医療法人平成会
女の都病院
山崎 美由紀



看護連盟施設連絡員として会員1
人1人に声をかけ期日前投票で
100%と高い票数を得ることが出来
ました。今後も看護連盟活動の大切
さをスタッフと一緒に考え協力しあ
いながら頑張っていこうと思います。

県南地区第9支部
社会医療法人春回会
長崎北病院
相川 雅美



今回の参議院選挙では期日前投票
を、また日頃は研修会への参加を入
スタッフへ呼びかけました。今後も看
護問題解決に向け実現できるように
スタッフ皆で頑張っていきます！



施設連絡員紹介

県央



県央地区第1支部
一般社団法人
島原市医師会
訪問看護ステーションQ
本嶋 順子

県央地区第1支部幹事2年目です。後援会入会へお誘いと選挙に行かれるよう声かけをしています。小さな当たり前の活動ですがその積み重ねが大きな力になると信じ、自分にできる活動を確実にやり頑張っています。



県央地区第2支部
医療法人仲会
愛野記念病院
宮崎 光子

今回の選挙では期日前投票に行くよう繰り返しお願いをした結果、たくさんの方の票につながりました。今後もリーダーとして選挙の大切さを伝え、理解してくれる人を一人でも多く増やすことが私の使命です。



県央地区第3支部
独立行政法人
諫早総合病院
中村 碧

会員一人ひとりが看護と政治に関心を持つように、アンフィニ等を有効活用しながら話題提供に努め、連盟会員100%の入会率を継続しています。また、選挙の際は投票行動に繋がるようリーダーシップを発揮します。

県央地区第4支部
日本赤十字社
長崎原爆諫早病院
下平 瞳



私は病棟のリーダーの活動をして2年目です。連盟活動に参加するうちに連盟の大切さを実感することができました。私の所属する病棟は全スタッフが看護連盟に加入しており、今回の選挙でもほとんどのスタッフが投票へ行ったことを確認できました。今後も、支部役員や青年部員と協力し活動していきたいと思っています。



県央地区第5支部
医療法人宏善会
諫早記念病院
平野 つよみ

諫早記念病院では 各病棟リーダーが選挙公示前から投票への声を掛け一人一人の意識を高め、さらに期日前投票の徹底を行いました。次回選挙でも 投票数を伸ばす事ができるように 団結して力を尽くしたいと思います。

県央地区第6支部
医療法人仁寿会
南野病院
児玉 由香里



病棟リーダーとして看護連盟での活動内容を病棟スタッフへ伝達し周知してもらえるように活動しています。今後は定期的に各病棟リーダーと情報交換を行い、連盟活動を円滑にしていきたいと考えてます。

県北

県北地区第1支部
佐世保共済病院
中央手術室
病棟リーダー
中富 義人



研修など活動には積極的に参加し、学んだ知識を皆様と共有することで施設・県北地区を盛り上げて行きたいです。そして、看護師の議員を一人でも多くだし、看護師が働きやすい環境をみんなで作って行きましょう。

県北地区第2支部
社会医療法人財団
白十字会
耀光リハビリテーション病院
福本 裕二



平成28年度より県北地区第2支部で幹事として、はじめて連盟活動をお手伝いさせていただくことになりました。当初は分からないことばかりでご迷惑をお掛けすることばかりですが、連盟活動や役割を知り、またさまざまな方との出会いも多くなったと感じています。特に今回は第24回参議院選挙という時期で自病院への働きかけを通し、今後の活動や看護の発展に少しでも貢献できるよう病棟連絡員と協力して活動していきたいと考えています。

県北地区第3支部
社会医療法人財団
佐世保中央病院
山口 由美子



たかがい恵美子候補の写真をスタッフ室へ約1年前より掲示し、公示後には「期日前投票」をスタッフへ呼びかけチェックしてきました。今回の選挙活動はスタッフの意識も高くなったように思います。第3支部としてこれからも看護連盟活動に協力していきたいと思っています



衆議院議員 谷川 弥一先生を支える感謝のつどい



日 時:平成28年11月23日(水) 14:00~15:10
場 所:大村商工会議所
参加者:長崎県看護連盟県役員、支部長、幹事長、青年部員
谷川弥一後援会、里脇県議後援会 計121名

去る第24回参議院議員選挙において、我らの代表「たかがい 恵美子」へ多大な応援をいただいた、衆議院議員谷川弥一先生へ感謝の気持ちをこめて先生を支える感謝のつどいを開催しました。

特別講演 「時局講演」

講 師:衆議院議員 谷 川 弥 一 先生

時局講演では「憲法改正」の意義や必要性を新聞等の資料を元に分析され、私達にわかりやすく講義をしていただきました。また、次期アメリカ大統領トランプ氏の言動に対して、先生の考えを拝聴することができました。

来賓あいさつ



谷川弥一後援会会長
島 信行氏



県議会議員
里脇 清隆氏

衆議院議員谷川弥一先生を支える感謝の言葉



県央地区第6支部支部長
森 良子



青年部県央地区代表
井上 二郎



平成28年度 病棟リーダー・施設連絡員研修会

ねらい 第24回参議院選挙で、リーダーとしての役割を自覚し、目標達成の為に行動することができたか振り返りを行い、今後の活動に活かせるようにする。

県北

日時：平成28年9月10日(土) 13:30~16:00
参加者：45名
場所：長崎県看護キャリア支援センター 研修室 C

県南・県央

日時：平成28年11月12日(土) 13:00~15:30
参加者：83名
場所：長崎県看護協会(長崎会館) 5階研修室

1. 基調講演 病棟リーダーとしての取り組みから投票につながったこと

佐世保市総合医療センター



重村 園子

西原イサ子

長崎記念病院



古場 敬子

山口みどり

2. グループワーク

①病棟リーダー・施設連絡員としての自身の役割を果たすことができていたか

- ・病棟会を活用して、国会へ代表を送ることの必要性を説明した。
- ・期日前投票にいくように促し、シールを貼り意識づけた。

②今後、リーダーとして活動のあり方を考える

- ・研修などに出席して、長崎県看護連盟の目標を知ることが大切。
- ・うまくいっている施設のやり方を、参考にする。
- ・役割を持つことで自覚するので、多くの人がリーダーなどの役割を経験することが大事。
- ・管理者のリーダーシップとフォローが必要。

今回、2回の研修会では、病棟リーダーの取り組みについて2施設の代表の基調講演がありました。具体的な実施活動が発表され、施設が一体となって取り組んでいる様子が伺えました。また、グループワークでは病棟リーダーとして活動しやすかった施設や難しかった施設間での活発な意見交換が行われどのようにすれば政治運動ができるのが今後の課題に上がっていました。下記は、2回の参加者のアンケート結果です。

【病棟リーダー施設連絡員研修会アンケート結果】

- 出席者：128名 回収：119枚 (回収率93%)
- ・昨年度のリーダー研修会参加率 65%
 - ・リーダーの役割を理解し活動できた率 62%
 - ・自部署で期日前に行くように促した 85%
 - ・自分自身が期日前投票に行った 76%

アンケートの結果よりリーダーの役割を理解して活動できた率は62%ですが、期日前投票への促しは85%で、役割はかなり達成できたと思います。今後も研修を通して、自施設にあったリーダーの活動内容を深めてほしいと思いました。



青年部あいさつ



尾崎部長

皆様、こんにちは。青年部部長をしている尾崎です。私達青年部は「働く環境」「日本の医療」「患者さんの笑顔」のために活動しています。私達の活動の年月はまだ浅いものがあり、理解を求めていくには時間と他の方々の理解・協力が不可欠です。特に若い看護師さんはこれから20年30年と看護職を継続していかなければなりません。どうせなら、より良い職場環境で心身ともに健康に働き続けることを目指し、自分自身に強く関わりあることだという認識を持ってもらえれば幸いです。これからも、青年部が研修会や皆様の病院へお邪魔する機会が多くあると思います。皆様と同じ世代の部員達です。どうか温かい目で見守ってください。今後よろしくお願いいたします。

県南地区 キャラバン 訪問予定病院

- ・長崎原爆病院 ・済生会長崎病院 ・長崎掖済会病院 ・長崎北病院
- ・聖フランシスコ病院 ・光晴会病院 ・十善会病院
- ・長崎百合野病院 ・長崎リハビリテーション病院



金崎副部長

青年部副部長の金崎です。今年は待ちに待った選挙の年だったため今までの活動の中でフルに自分を出し尽くした一年だったかもしれません。といっても自分には他のメンバーみたいに文章をまとめたり、政治の事を詳しく話すことはできません。ただ、他のメンバーにはない「自分らしさ」を大切にしています。もともと誰かを楽しませるのが好きでサプライズとかユーモアを活かした行動をします。人前に出て話す事も別に苦ではなく自分を表現できる場として考えています。今年も選挙でも、若者の目線に合わせ研修会を少しでも笑顔が増えるようユーモアを取り入れました。積極的に前に出て応援を行ってきました。それが僕の「自分らしさ」です。

選挙が終わり慌ただしさが少し落ち着いた感じですが、これからも青年部として若者の支持をたくさんもらえるよう頑張っていきたいと思っています。

県央地区 キャラバン 訪問予定施設

- ・愛野記念病院 ・諫早記念病院 ・南野病院 ・長崎原爆諫早病院
- ・島原市医師会看護学校



藤澤副部長

県北地区で副部長をさせていただき約5年が経ちました。青年部活動を行っていく中で、看護問題を知る機会が多くありました。現場にはまだまだ課題が山積みしています。この現状を変える近道は政治の力が必要なのです。私達若い世代はまだまだ看護師を続けなければなりません。私達やこれから看護師を目指す方々の為にも看護と政治の繋がりを知り、国政に訴えて職場環境の改善に取り組みしましょう。私達青年部は皆さんの意見を看護の代表議員に強く訴えていきます。これからもよろしくお願いいたします。

県北地区 キャラバン 訪問予定病院

- ・佐世保記念病院 ・北松中央病院 ・佐世保中央病院
- ・耀光リハビリテーション病院 ・佐世保共済病院
- ・佐世保市総合医療センター

* 訪問した際は研修への参加をよろしくお願いいたします。青年部一同より



みてみてmy病院

第16回 長崎県五島中央病院

当院は、長崎県五島列島の五島市に位置し、下五島地域の中核病院として唯一の総合病院です。病床数304床（一般230床、精神60床、結核10床、感染症4床）がんなどの専門的治療の他、精神、結核などの政策医療、さらに24時間2.5次救急にも対応しています。

離島の医療機関である当院は、「五島の地域医療に貢献し、患者様に信頼される病院を目指します」の理念の基、お互いに顔見知りが多いという地域特性を活かし、個々に応じた看護と質の高い医療を患者様に提供できる病院でありたいと考えています。

職員の研修においては、離島のハンディを補うためインターネット配信も取り入れ、いつでも、どこでも、産休・育児休暇中の方も気軽に研修を受けることができます。



更に、病院の活性化と職員の資質向上を目的として、平成27年度は長崎大学病院とアイランドナースネットワーク事業協定が締結されました。

今年度は、3名の方が仲間として加わりお互いに幅広い知識やスキルの獲得、人・自然環境によるリフレッシュ効果と看護師等の確保の一助にもなっています。

まだまだ、課題もありますが地域住民に質の高い看護の提供と職員が笑顔で働けるよう努めていきたいと思ひます。

文責 看護部長 赤窄かずみ



インターネット配信による職員研修



院内クリスマス会



高浜海岸

五島の自然・食



たくさんの応募
お待ちしております。

my病院・施設を紹介してみませんか？

「これが自慢！うちならではの！頑張ってます！！」なんでもOKですよ。

応募方法はこちら → hyk.renmei@kangorenmei-nagasaki.jp または Fax (0957) 49-8066



県別会議



日時：平成28年12月1日(木) 13：30～16：00

場所：長崎県看護協会〔長崎会館〕5階研修室

今回、県別会議は草間朋子日本看護連盟会長をお迎えし実施されました。第24回参議院選挙の本部からの報告に続き県南地区第3支部、県央地区第2支部、県北地区第1支部、離島地区上五島支部の支部長より各支部の取り組みについて報告がありました。検討事項の中で、得票数を伸ばす為には、連盟会員の増加を図ること、それには公的施設、準公的施設への働きかけをどうすればよいかなど活発な意見交換が行われ、連盟本部や看護協会への積極的な働きかけを要請しました。

南島原研修

11月6日、長崎県看護連盟役員、OB会員、清流会、婦人会の友好団体の皆様42名で南島原研修にでかけました。口之津の歴史民俗資料館では良港な口之津港の条件から16世紀後半に南蛮船の来航、明治になって三井三池石炭の海外輸出中継港で発展したことを知りました。その他原城址、南有馬町キリシタン遺産記念館、西望公園を見学し長崎県の歴史に触れることができました。



原城址にて

研修会案内

新入会者研修会

日時：平成29年1月19日(木) 14：00～16：30

場所：ながさき看護センター

会員募集

あなたも長崎県看護連盟に！

職場の声を国政に反映させましょう！

看護政策実現には

看護連盟の組織強化が必要です。

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年の24回参議院選挙では本県は得票数全国一位の好成績を納めることができました。今回、職場の要のリーダーの紹介を特集しました。本年は充電の年と銘打って会員一致団結して取り組んでいきたいものです。

広報担当一同